



町村連

発行元
自治労北海道本部
町村連絡会議

2017年度
道本部
町村連総会

『要求・交渉・妥結』 町村職の力を結集しよう

道本部町村連絡会議は9月28日、札幌市・自治労会館で「2017年度定期総会」を開き、49単組・89人（うち女性9人）が参加した。総会では、『要求・交渉・妥結』の交渉サイクルの確立、「公正・ゆとり・豊かさ」を実現できる『実質賃金の引き上げ』をはじめとする、「2016年度運動総括および2017年度たたかひの目標」を全体で確認した。



総会には49単組・89人（うち女性9人）が参加した＝札幌市

武山・代表幹事は「参議院選挙闘争では全町村単組オルグを実施したが、組合員に政治闘争の意義が伝わっていたのか総括が必要。各単組は音威子府村職などの取り組みに学んでほしい。また、2016賃金確定闘争は越年とならないよう各単組で取り組みを進めよう」とあいさつした。山木・道本部財政局長は「町村単組は組合員の顔が

見える運動ができる。2016賃金確定闘争は組合員と顔をあわせて取り組むことが重要だ」とあいさつした。来賓として、川本・本部中央執行委員長、岸・本部組織対策局長、全労済自治労共済本部・三浦常務、笹田道議が出席しあいさつした。その後、「一般経過・共済議員報告」「2016年度運動

総括および2017年度たたかひの目標」が提起され、参院選などの取り組みに関わる発言を受けたのち、全体の拍手で確認された。また、2017年度町村連幹事会体制について、武山和史さん（斜里町労連）を引き続き代表幹事、そのほかの役員は「第1回幹事会」で互選により選出することもあわせて確認した。

『組合員に見える』運動の構築

2017年度町村職賃金闘争・組織強化拡大交流集会



↑組織強化分科会に参加した
遠別町職・柿崎さん

賃金闘争分科会で
発言する武山代表

集会には33県本部99人の仲間が参加した＝10月21日・奈良市

10月21、22日、奈良県・奈良市内で開かれ、33県本部99人（うち女性6人）・北海道から5人が参加した。山木・全国町村評議長が「労働運動をしっかりと職場に定着させ、組合員に顔が見える運動を構築し組織強化につなげよう」とあいさつした。集会2日目には、賃金闘争、組織強化、共済推進の3つの分科会が行われ、賃金闘争分科会に参加した武山代表が「単組執行部の若年化により、賃金闘争など執行部は悩みなから取り組んでいる」といった課題を報告した。また、共済推進分科会では、全労済自治労共済本部・三浦常務の提起があり、全体で討論した。

【当面のスケジュール〔予定〕】

〔2016年〕

- 11月19～20日 道本部町村連第1回幹事会（札幌市）
- 12月17～18日 道本部町村連第2回幹事会（札幌市）

〔2017年〕

- 2月17日 全国町村職総決起集会（東京都）
- 3月 町村連学習会・第3回幹事会（札幌市）
- 6月 道本部町村連第4回幹事会（札幌市）
- 9月 道本部町村連第5回幹事会（札幌市）

■重要なお知らせ■

各単組はマイナンバー制度導入で、自治体におけるセキュリティが強化されることから、組合関係の情報収集・送信・受信は、職場のPCを使用せず、道本部から配布しているノートPC等を使用して、『じちろうネット(サイボウズグループ)』で行なうようお願いいたします。